

# 生徒たちが発見した 湖西中学校保管の土器展示

湖西中学校の正面玄関を入ると、生徒たちの活躍の歴史や他校との交流を物語る多くのトコロフィーや賞状などと共に、中学校が保管している土器等が展示され



湖西中学校 展示の様子

ています。

土器は、新旭地域で採取されたもので、そのほとんどが先生や生徒、保護者の方々によって発見され、今日まで大切に保管、展示されてきたものです。

主な展示物は、湖西中学校のグラウンドから出土したものや、新旭地域の湖岸や丘陵部に所在する遺跡から出土したもので、中には完全な形（完形品）で発見された重要なものも存在します。展示されている土器のひとつには、昭和30年代前後の中学校グラウンド工事の際に出土し、採取したものであることがわかるように、土器表面に注記されています。

これらの発見を受けて、昭和45年には湖西線建設工事に伴い新旭駅周辺で初めて堀川遺跡の発掘調査が実施され、それ以来、多くの発掘調査が

実施されてきました。これまでの調査により、遺跡の範囲は、南北約700m×東西約500mと広がり、弥生時代から鎌倉時代にかけての建物跡などが見つかっています。

また、同じ遺跡内には、近世まで続く阿弥陀寺遺跡も含まれることから、この地域は、弥生時代から近世まで継続的に集落が営まれ、安曇川左岸地域において重要な地域であったことが判明しています。学校から出土した土器は、地域の歴史を解明するきっかけとなる発見でした。



湖西中学校運動場から出土した土器

## 編集者のつづき

新年明けましておめでとうございます。▼表紙は、今津東小学校で行われた注連縄づくりのようです。地域のボランティアの方に教えてもらいながら、子どもたちは一生懸命にしめ縄を作っていました。このような伝統文化を継承していく教育は大事ですね。特集は、来年12月に上演予定の第3弾市民劇の題材となった新旭町出身の教育者「清水安三」をご紹介します。どのような劇になるか今から楽しみです。

(広報担当S)

## 文化財課

(32) 4467

この他、湖西中学校には、高島市内で最も古い瓦が出土している飛鳥・白鳳時代の古代寺院跡である大宝寺遺跡の古瓦の破片や、弥生時代の集落として市内では、最も古い時期に位置付けられている針江浜遺跡採取の土器など、地域の歴史を語る上で貴重な埋蔵文化財が保管されています。

文化財課では、これら貴重な資料をより良く保存・展示し、地域の歴史学習にも利用してもらうために展示内容をリニューアルさせていたいただきました。

広報たかしま

平成25年

1  
月号  
No.156

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課  
〒500-1100 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

0740 (25) 8000(代)  
http://www.city.takahima.shiga.jp  
t:info@city.takahima.shiga.jp